

バンク・マンディリ(BMRI)

マイクロクレジット堅調、スーパーアプリが非金利収益に寄与。子会社がインドネシア唯一の大手シャリア銀行 インドネシア | 銀行 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG BMRI:J | REUTERS BMRI:JK

- 2025/12期9M(1-9月)は、総営業収益が前年同期比4.8%増、純利益が同10.4%減。経費率悪化と不良債権費用増加が響き最終減益。
- 低所得者向けマイクロクレジット、消費者向け融資などリテール向け融資が拡大。スーパーアプリ「Living」も非金利収益増加に寄与。
- イスラム金融「バンクシャリア」は世界最大のイスラム教人口を抱えるインドネシアで国内唯一の大手シャリア銀行として恩恵を受ける。

What is the news?

10/27発表の2025/12期9M(1-9月)は、総営業収益が前年同期比4.8%増の106.6兆IDR、経費率が4.7ポイント上昇悪化の46.6%、貸倒引当金繰入額が同9.8%増の10.4兆IDR、純利益が同10.4%減の37.7兆IDR。預貸の利鞘に係る純金利マージンが縮小したものの、貸出残高の堅調な伸び、および預金や貸出に関連した手数料、デジタル・チャンネルの伸びを受けた非金利収益の増加が増収に寄与した。利益面では、経費率の悪化や不良債権処理費用の増加が響き減益となった。3Q(7-9月)の前四半期比では、総営業収益が6.2%増、純利益が17.9%増、9月末の不良債権率(グロス)が0.05ポイント低下の1.19%へ改善した。

・9Mの総営業収益の主な内訳は以下の通り。①純金利収益が前年同期比4.9%増の78.2兆IDR。NIM(純金利マージン)が同0.26ポイント縮小の4.89%となったものの、9月末貸出残高が同5.6%増だったことが増収に寄与した。②純生命保険料が同77.0%減の0.3兆IDR。③非金利収益が同7.8%増の33.2兆IDR。その内、経常的なコア非金利収益が同11.4%増の14.3兆IDRと堅調に推移した。

同社が注力しているリテール向け融資残高の9月末は、(1)低所得者向けのマイクロクレジットが同7.1%増の197兆IDR(その内、政府プログラム(KUR)が6.3%増、給与ベース融資(KSM)が4.4%増、小規模生産関連融資(KUM)が20.0%増、(2)消費者向け融資が同3.4%増の122兆IDR(住宅ローンが10%増、クレジットカードが14%増に対し、自動車ローンが12%減)だった。

How do we view this?

通期会社計画は、期末貸出残高伸び率が前期比8-10%、純金利マージン(NIM)が4.8-5.0%、総信用コストが0.8-1.0%(9月末実績0.73%)と従来計画を据え置いた。生活関連機能を網羅したスーパーアプリ「Living」は9月末の登録ユーザー数が前年同期比27%増の35百万人、9Mの手数料収益が同17.6%増の2.1兆IDRとコア非金利収益の約15%を占めるまで成長。

さらに、9Mは子会社の純利益(含む少数株主持分)が同1.0%減の8.4兆IDRとなったものの、その内、2021年2月に国営銀行3行が合併して誕生したイスラム金融(シャリア)のバンクシャリア(子会社純利益に占める比率が65%)は、純利益が同9.0%増の5.5兆IDRへ拡大している点が注目される。2億4000万人と世界最大のイスラム教徒人口を抱えるインドネシアで同行は国内唯一の大手シャリア銀行として恩恵を受ける立場だ。

業績推移

※参考レート 1IDR=0.0092円

事業年度	2022/12	2023/12	2024/12	2025/12F	2026/12F
純利益(十億IDR)	41,170	55,060	55,782	49,990	54,320
イ)	441.26	589.93	597.67	542.03	586.16
PER(倍)	9.25	8.87	8.67	8.84	8.17
BPS(IDR)	2,460.84	2,794.85	3,040.68	3,157.84	3,389.02
PBR(倍)	1.66	1.87	1.70	1.52	1.41
配当(IDR)	264.67	353.96	466.18	404.57	369.71
配当利回り(%)	6.49	6.77	9.00	8.45	7.72

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(IDR) **404.57** (予想はBloomberg)
 終値(IDR) **4,790** 2025/11/18

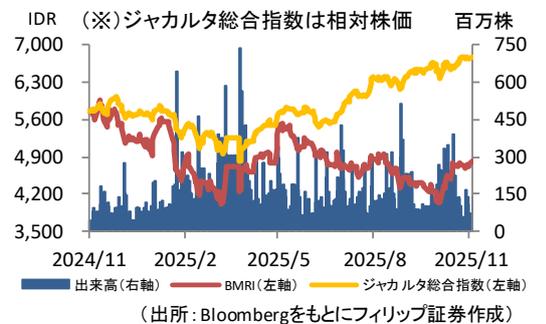
会社概要

1997年以降のアジア通貨危機時にインドネシア政府により実施された銀行再編計画の一環として1998年に設立。1999年にBank Bumi Daya、Bank Dagang Negara、Bank Exim、Bapindoの4つの国営銀行が同行に統合された。現在はインドネシア政府が60%の筆頭株主である。

同社は、コーポレートバンキング、コマース&ビジネスバンキング、マイクロ&リテールバンキング、自己資金運用(トレジャリー)&国際金融、消費者金融の5つの戦略的事業ユニットを展開。投資銀行のMandiri Sekuritas、イスラム金融の国営3行が合併して設立されたBank Syariah Indonesia、低所得者向けの小口金融であるマイクロバンキングを行うBank Sinar Harapan Bali、マルチファイナンス事業を行うMandiri Tunas Financeなどの子会社がある。

企業データ(2025/11/19)

ベータ値	1.14
時価総額(十億IDR)	451,733
企業価値=EV(十億IDR)	-
3ヵ月平均売買代金(十億IDR)	750.5



主要株主(2025/11)	(%)
1.PT BIRO KLASIFIKASI	52.00
2.INDONESIA INVESTMENT AUTHORITY	8.00
3.VANGUARD GROUP	2.28

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
 togo.masubuchi@phillip.co.jp
 +81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。